

寅年の「トラ」たちの季節

日本には、野生のトラは生息していないため、寅年にトラに会いたければ、動物園に行くしかありません。一方、和名に「トラ」が付いている生き物は少なくありません。今回の新聞では、今年だからこそ紹介したいあきる野の「トラ」たちの出番です。実は、これらの多くは今が観察できる季節の真只中です！

* 自然観察には、生き物の行動に影響を与えないように、双眼鏡を活用するのがおすすめです。

トラカミキリの仲間



カミキリムシは甲虫の仲間、寄主となる植物の種類がそれぞれ違うため非常に多様です。とても魅力的な模様を持っている種類が見られ、トラカミキリ族は代表的で、名の通り見事なトラ模様です。本来は、身を守るため、トラではなく、ハチに擬態しているのでしょう。

市内でさまざまなトラカミキリの仲間を見ることが出来ます。特に里山環境や多様な森林環境がみられる山道を歩くときに目でよく探してみると楽しいです。写真はキイロトラカミキリ(左)とキスジトラカミキリ(右)

トラフシジミ

美しく、小さなシジミチョウの仲間の世界です。トラフシジミはその中の一種で、主に5～7月にその成虫がみられます。山地の豊かで明るい植生環境にやや多いですが、実はよく探さないとなかなか出会えない蝶です。翅裏は確かにトラ模様に見えますが、翅表は大変美しい？色です！見つけたらそっと観察してみてください。



トラツグミ



鳥類でもいました！名に「トラ」が付く野鳥と言えば、トラツグミですね。それ程目立つ模様ではありませんが、よく見るとしゃれた薄トラ模様ではないでしょうか。森林性で、生い茂った豊かな森に生息します。性格はとても臆病なため、特に夏は姿を見ることが難しいのですが、昼でも夜でも「フィー、フィー」と寂しく、やや低い鳴き声で鳴いたりしますので、その存在を確認することができます。

ヒメトラハナムグリ

ハナムグリの仲間も種類が豊富で、大自然の中から公園や市街の花壇まで、好みの花に「潜っている」姿を見かける身近な昆虫です。このヒメトラハナムグリは小さく、繊細なトラ模様はまた印象的です。夏の中場まで出会えるチャンスがあります。



コトラガ



美しいガの一つ、コトラガ。上のハナムグリと同じくクリの花などに集まるため、ゆっくり観察できる機会があります。秋川渓谷などの水辺の里山で探してみるとよいでしょう。

名に「トラ」が付かないトラ模様の生き物たち

クモガタヒョウモン



トラではありませんが、同じような雰囲気ของヒョウの模様になります(笑)。あきる野では、タテハチョウの仲間「ヒョウモン」という名前のついたチョウに6種出会えます。主に初夏と秋口に成虫が発生し、川や山の草原的環境に多く見られます。

セスジスカシバ



スカシバという名前の生き物は、一般的に知られていないガの仲間です。ヤブが豊富な明るい雑木林などで見かけることができますが、この写真のセスジスカシバのようにハチに見えるため勘違いされる事が多いかも知れません。ハチに似たような模様で擬態していると思われますが、トラ模様ともいえるでしょう。

夏本番：大雨や熱波などに要注意！！

この時期は自然を楽しむには最高の季節でありながら、危険が最も多い時期でもあるかも知れません。ニュースなどでも、残念なことに、川の事故、熱中症やハチさされなどの被害が報道されているように、実に多様な危険が潜んでいるのは夏の大自然の裏の顔でもあります。

朝は天気の良いのに、午後になると記録的な大雨が降ったりしますと、それに伴う川の増水、雷や土砂崩れなどという突発的な被害に合わないよう情報をよく確認し、注意しましょう。これらの危険は温暖化などで年々増しているようで、安全を心がけて自然を訪れましょう。

- * 右：穏やかな時の秋川渓谷の風景
- * 左下：増水中の秋川の様子
- * 右下：山道での土砂崩れの様子



ちゃんと予定を立て、
情報をチェックして
から出かけましょ
うね～！

